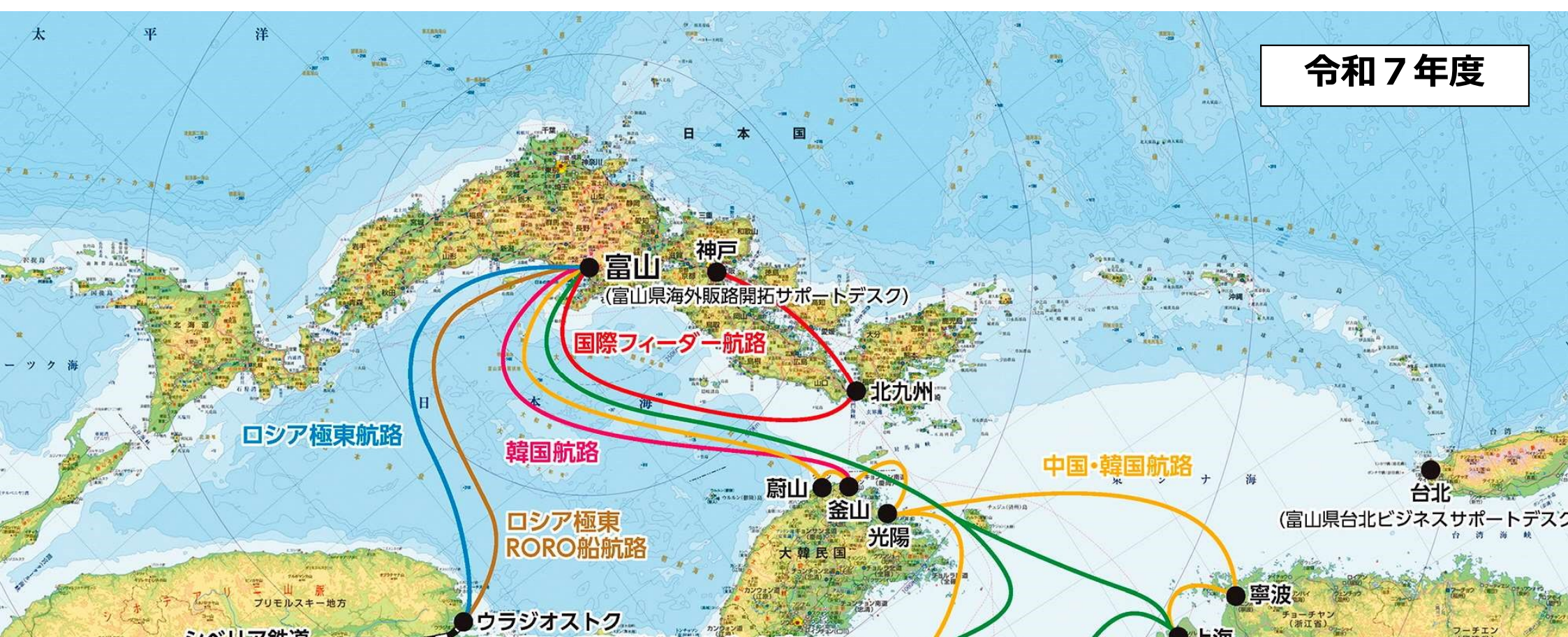
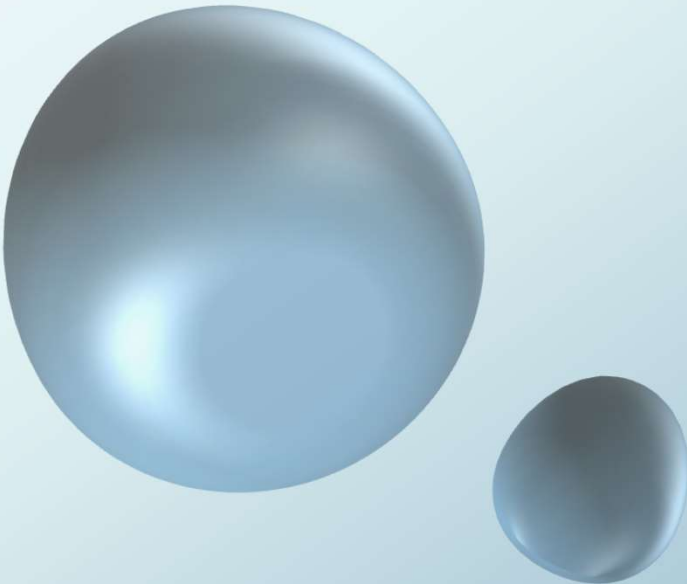




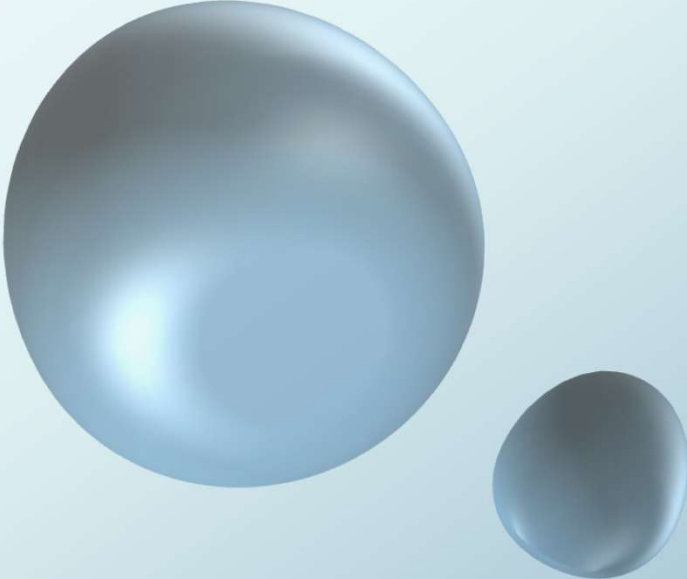
伏木富山港の概要・補助制度について



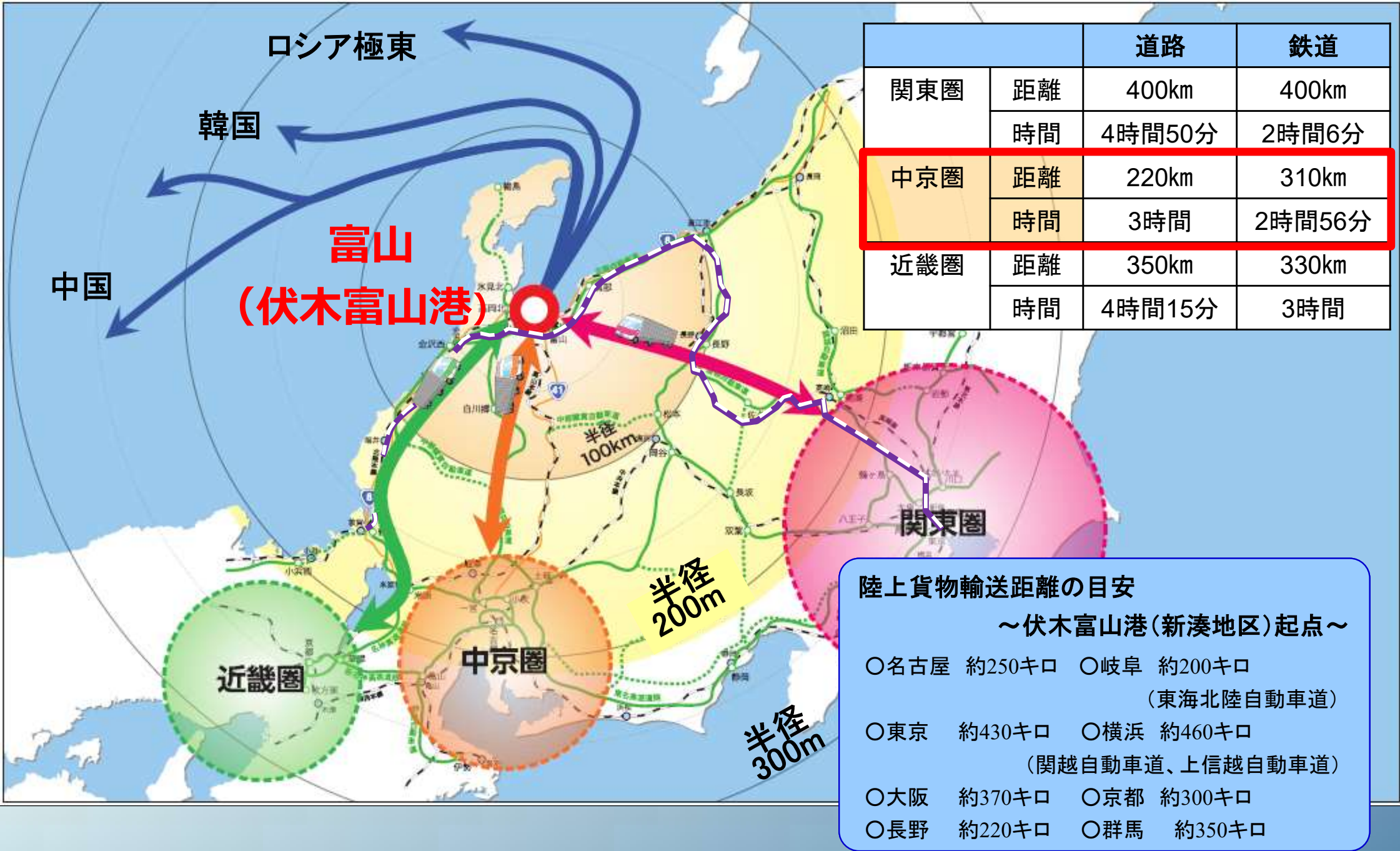
Two blue spheres of different sizes are positioned on the left side of the slide. The larger sphere is in the foreground, and the smaller one is slightly behind and to the right of it. Both spheres have a glossy, reflective surface.

目 次

1. 伏木富山港の概要
2. 伏木富山港における補助制度
3. 伏木富山港の更なる活用を目指して



1. 伏木富山港の概要



図岸沿川部矢小並港木伏



室町時代	三津七湊の1つ岩瀬湊として栄える
江戸時代	富山の岩瀬、新湊の放生津、高岡の伏木が北前船(西回り廻船・北国廻船)の寄港地として栄える
昭和26(1951)年	伏木港と富山港が「伏木富山港」として統合し、重要港湾に指定される
昭和43(1968)年	放生津潟の掘削と港口を大きく広げ、富山新港が開港
昭和61(1986)年	「伏木富山港」が日本海側で2番目の特定重要港湾(2011年(平成23年)4月より港湾法改正のため国際拠点港湾)に指定される
昭和63(1988)年	韓国、台湾、香港へ定期コンテナ航路就航開始
平成2(1990)年	韓国への定期航路就航開始
平成14(2002)年	富山新港の国際物流ターミナル供用開始
平成19(2007)年	定期航路の中国・韓国航路が就航開始
平成23(2011)年	「伏木富山港」が日本海側拠点港(総合的拠点港)に選定される
令和元(2019)年	富山新港のコンテナ用岸壁の延伸工事完了。総延長408mとなり、12,000 t級(1,000 TEU級)のコンテナ船2隻の同時接岸、同時荷役が可能となった

1. 伏木富山港の概要～特色のある3つの地区～

3

伏木地区



小矢部川の河口港として古くから発展した港であり、背後地には石油配分基地等の工業地帯を形成。平成18年3月には国際物流ターミナルが完成し、大型船舶の入港に対応した物流機能を備える。

【R6貨物取扱量】72万トン

新湊地区



新しい臨海工業地帯の基幹的流通拠点として整備した港であり、外貿コンテナに対応するための国際物流ターミナル等の物流機能に加え、旅客船ターミナルや海王丸パークなどの交流機能を備える。

【R6貨物取扱量】415万トン

富山地区



神通川の河口港として古くから発展した港であり、中古車、金属くずや生活を支えるガソリン・灯油等の石油製品などを扱う物流機能に加え、運河を活かした市民の憩いの場としての機能を備える。

【R6貨物取扱量】123万トン

伏木港 富山新港 富山港

1. 伏木富山港の概要～充実した国際物流ターミナル（新湊地区）

4

- 国際物流ターミナルを有し、外貿コンテナを中心に対岸諸国等への国際物流拠点
- 背後に多くの工場や発電所等が立地し、石炭、木材チップ、アルミインゴット等のバルク貨物の拠点



1. 伏木富山港の概要～コンテナヤードにおける充実した荷役サービス体制

5

ゲート(3レーン)

**オンデマンドによる
24時間の荷役体制**

**スピーディーで
効率的な荷役環境**

効率的なコンテナターミナル
ガントリークレーン2機、
RTG(トランスファークレーン)4機体制

リーファーコンテナヤード

**国際物流ターミナル
作業しやすいコンテナターミナル**

リーファープラグ

施設機能の充実

2隻コンテナ船同時接岸可能
複数のリーファープラグ
(220V,30A 10口/440V,30A 50口)
くん蒸上屋を完備、
温度・湿度管理も万全

くん蒸上屋

既設岸壁(L=408m)

H14 : 8.3ha
供用開始時

▶▶▶
コンテナヤード順次拡大

現在 : 13.1ha
(4.8ha拡張)

トランスファークレーン 4基
うち、3基がハイブリッド型

ガントリークレーン 2基
(うち1基をR5.9月に更新)

13.1ha

1. 伏木富山港の概要～海上輸送とクルーズの拠点（伏木地区）

- ・船舶の大型化への対応を図るため、外港への機能移転を展開中。
- ・12m水深の耐震強化岸壁が整備済みであり、大規模地震の発生時にも継続的な物流機能を確保。
- ・バイオマス発電所の稼働や石油製品の外港移転を予定するなど、エネルギー産業の集積が進む。



今後発生が想定される太平洋側大規模
災害時にも円滑な代替輸送が可能



1. 伏木富山港の概要～国際RORO船の拠点（富山地区）

8

- ガソリン等の石油製品等を取り扱っており、市民の生活を支えている。
- ロシア向けの中古車などを取り扱っており、現在耐震強化岸壁を整備中。
- 富岩運河を中心とした親水空間が形成され、市民の憩いの場として利用されている。



1. 伏木富山港の概要～充実したコンテナ航路（国際航路）～

9

韓国航路

寄港地:釜山

所要日数:輸出2～3日、輸入3～4日

中国航路

寄港地:上海、青島、大連

	輸出	輸入
大連	8	6
青島	9	5
上海	7	3

ロシア極東航路

寄港地:ウラジオストク

所要日数:輸出2～4日、輸入約9日

ロシア極東RORO船航路

寄港地:ウラジオストク

所要時間:

	輸出	輸入
ウラジオストク	30時間	30時間

中国・韓国航路

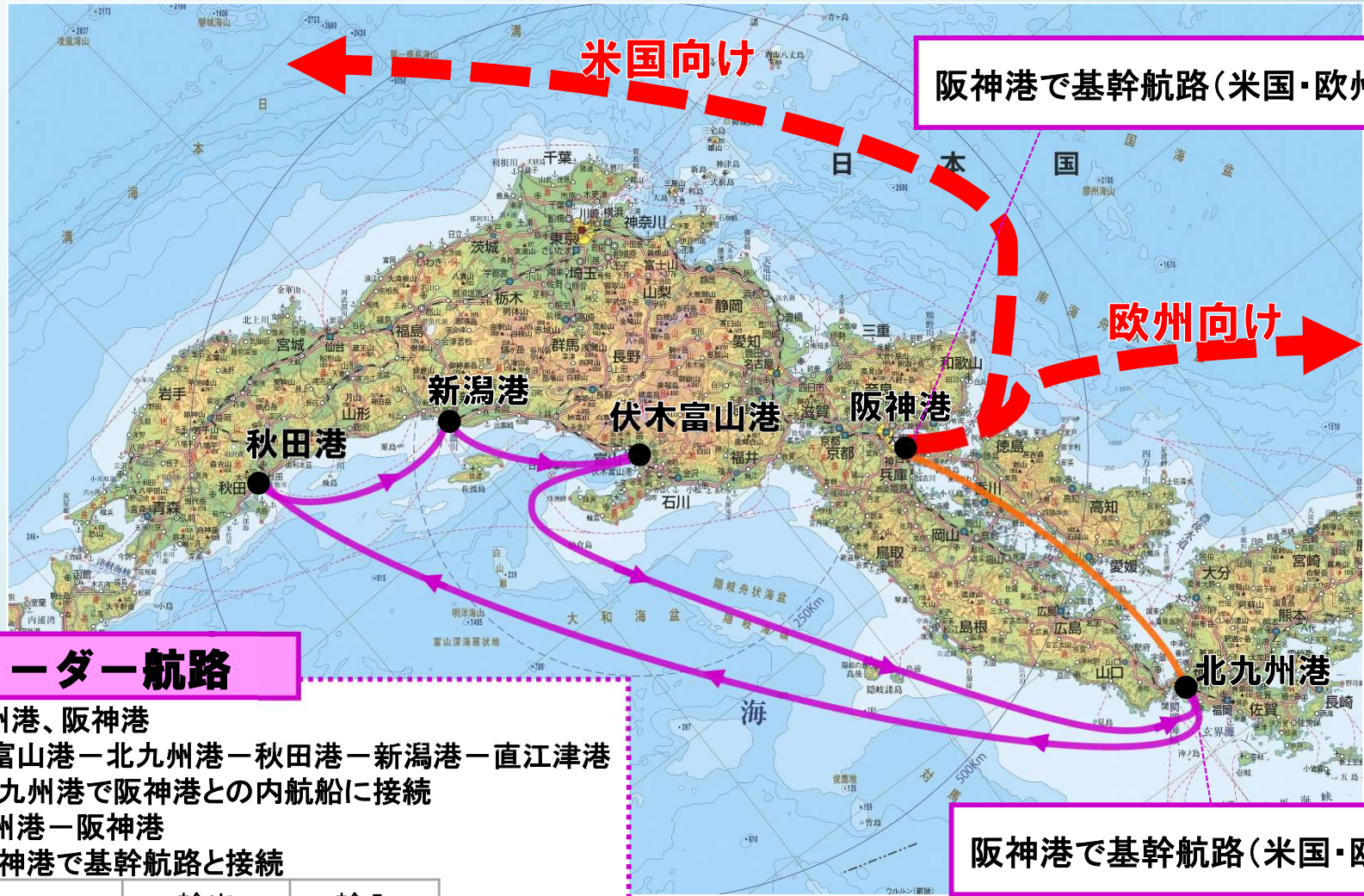
寄港地:釜山、蔚山、光陽、大連、天津新港、寧波、上海

	輸出	輸入
釜山	3	3
光陽	4～5	9～10
蔚山	3	11
大連	8	6
天津新港	6	7
寧波	6	8
上海	7	7

対岸諸国への所要日数が短い

韓国・釜山港への輸出入は最短2日。釜山トランシップにより、世界各国との輸出入が可能。

- 令和5年5月に**国際フィーダー航路**が就航
- 阪神港を経由して、基幹航路へ接続 ⇒ 欧米向け貨物輸送の利便性向上
- モーダルシフトや2024年問題の観点から、九州向けの海上輸送等でも活用が期待される



国際フィーダー航路

寄 港 地: 北九州港、阪神港

① 伏木富山港－北九州港－秋田港－新潟港－直江津港
※北九州港で阪神港との内航船に接続

② 北九州港－阪神港
※阪神港で基幹航路と接続

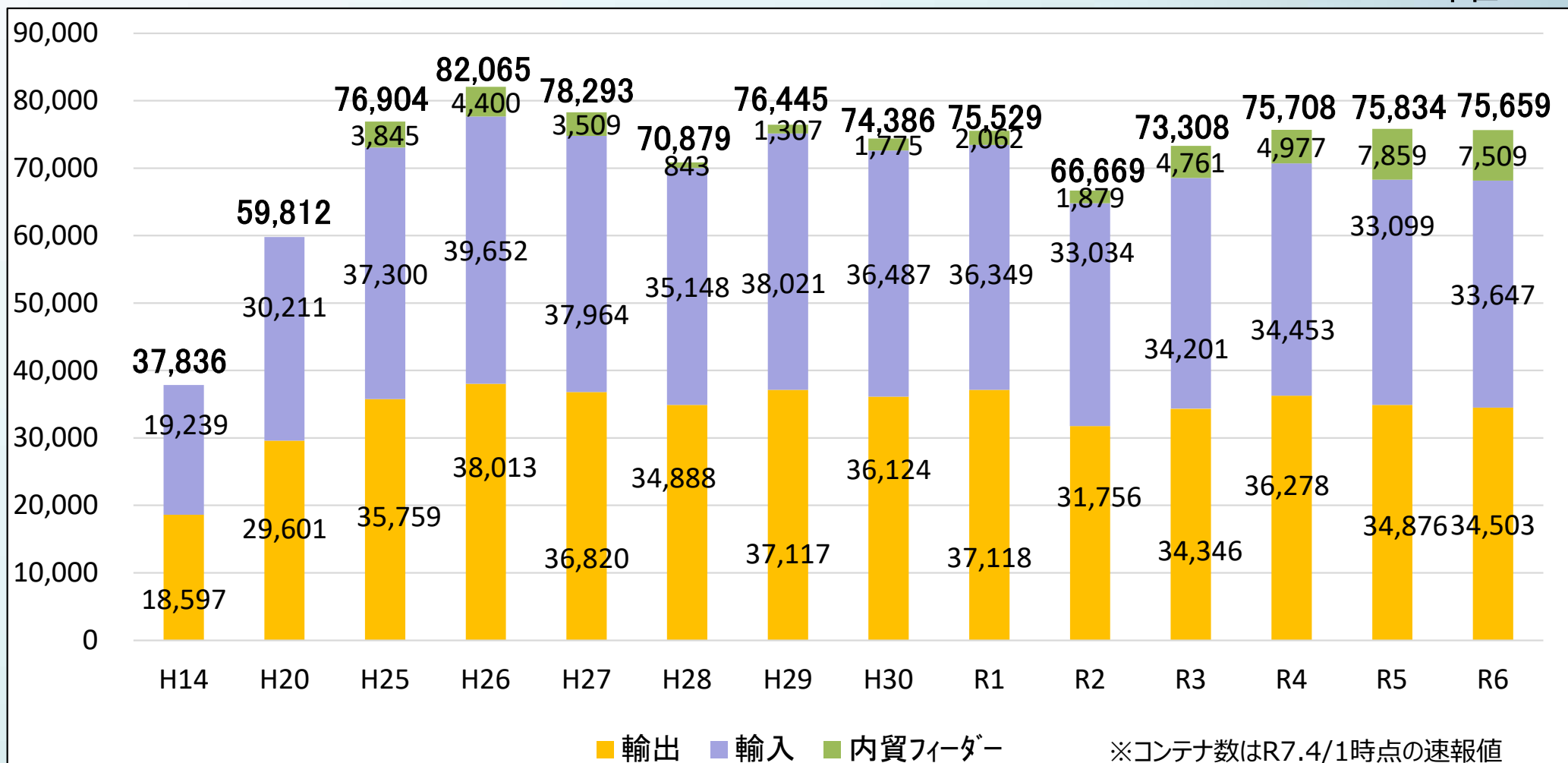
所要時間:

	輸出	輸入
阪神港	4日	6日
北九州港	2日(移出)	5日(移入)

阪神港で基幹航路(米国・欧州向け)へ接続

伏木富山港におけるコンテナ取扱個数の推移

単位:TEU

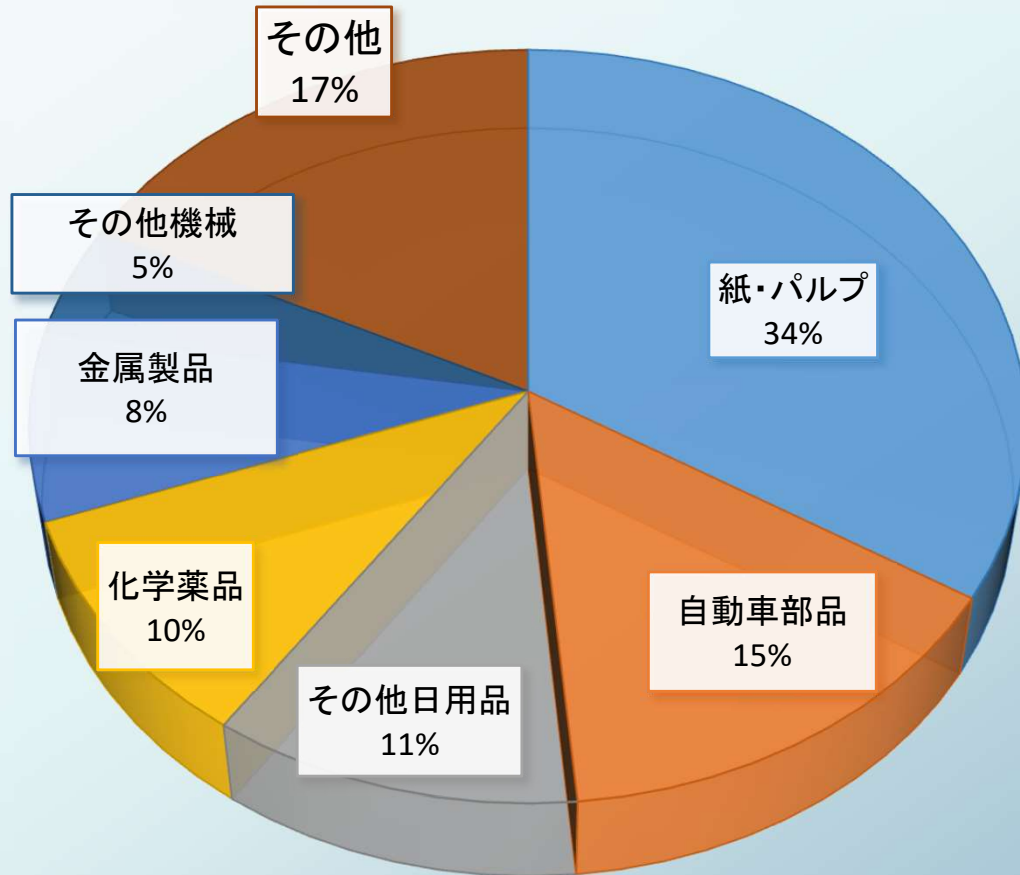


- ・平成14年から約20年間で、コンテナ貨物取扱量が約2倍となっている。
- ・令和2年は新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、コンテナ貨物の取り扱いが減少した。
- ・令和3～6年にかけて、コロナ前の水準に回復

1. 伏木富山港の概要～伏木富山港のコンテナ貨物取扱状況（R 6）～

12

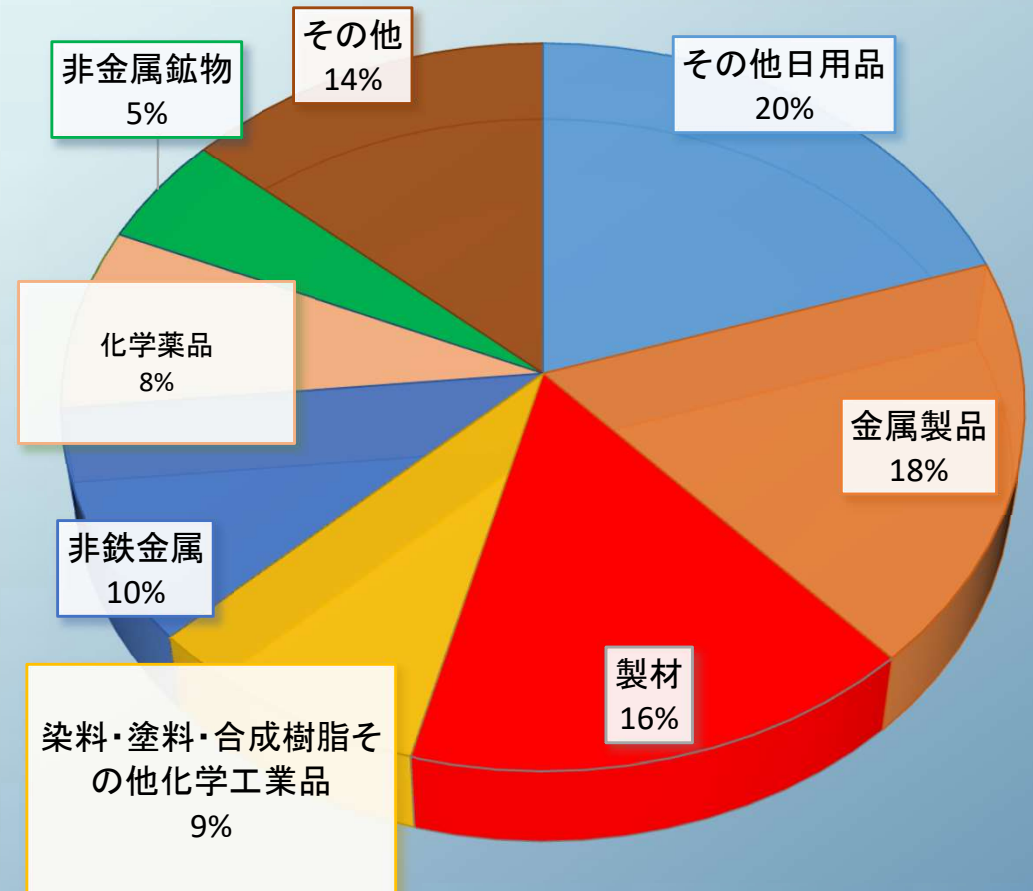
輸出品目



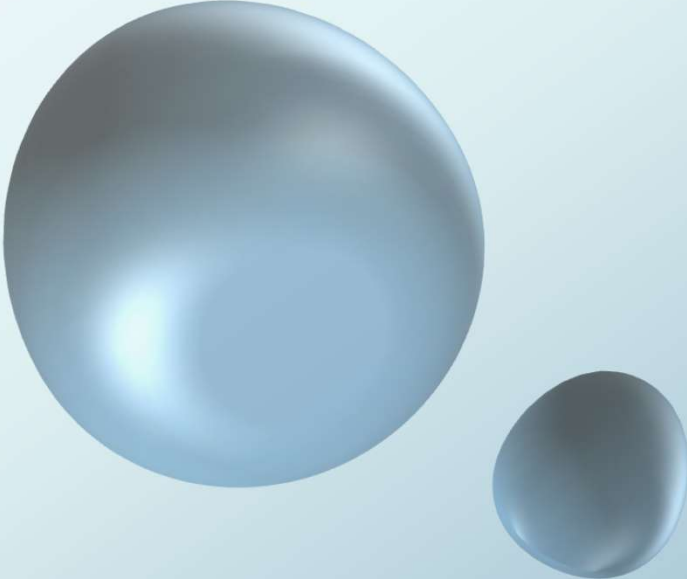
374,565トン

輸入品目

単位:トン



629,564トン



2. 伏木富山港における補助制度

2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～
(1) トライアル輸送補助金

①伏木富山港の試行的な輸出入に対し補助

対 象	対象経費	要 件	期間	補助率	限度額
トライアル 荷主企業	国内陸上輸送費、 梱包料、国内荷役 料、輸出入諸経費、 海上輸送費	① 伏木富山港の物流拠点性の 向上に資すること ② 事業実施により50TEU以上の 取扱いが見込まれること ③ モーダルシフト、リスク分散、物流の 効率化に資すること ※外貿(国際フィーダー航路含む)が対象	試験輸送 の 初年度	1/2	100 万円

※阪神港を伏木富山港活用ルートに組み入れた場合、阪神国際港湾(株)から助成が出る場合があります。

②トライアル補助金(伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金)小口混載枠

対 象	対象経費	要 件	期間	補助率	限度額
荷主企業	国内陸上輸送費、 梱包料、国内荷役 料、輸出入諸経費、 海上輸送費	① 伏木富山港の物流拠点性の向上に資すること ② モーダルシフトやリスク分散、物流の効率化に 資すること ③ 伏木富山港発着の小口混載貨物輸送サービス を利用すること	試験輸送 の 初年度	1/2	20 万円
物流企業	サービス実施に係 る経費(損失分)	① 伏木富山港の物流拠点性の向上に資すること ② モーダルシフトやリスク分散、物流の効率化に 資すること ③ リーファーコンテナを使った伏木富山港発着の 小口混載貨物輸送サービスを実施すること	試験輸送 の 初年度	1/2	23 万円

2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

(1) トライアル輸送補助金

③トライアル補助金(国内輸送)～伏木富山港を活用した国内輸送を支援します！！～

令和5年に国際フィーダー航路が就航し、**九州・瀬戸内地方等**への貨物輸送などの利便性が大きく向上しました。本航路を利用して国内輸送を行う**県内外の事業者の皆様**にむけた**支援制度を設けています**。販路の拡大、サプライチェーンの強化等のためにご活用ください。

対象者	対象経費	要 件		対象期間	交付額	限度額
トライアル 荷主企業 (試験的に 貨物輸送を 実施する 企業)	国内陸上輸送 費、梱包料、国 内荷役料、移 出入諸経費、 海上輸送費	通常	①伏木富山港の物流拠点性の向上に資する計画であること。 ②モーダルシフトやリスク分散、物流の効率化に資すること。 ③事業実施により10TEU／年以上の取扱いが見込まれること。	試験輸送 の 初年度	対象経費 の 1/2以内	20万円
		小口 混載	①上記欄の①及び②に掲げる要件を満たすこと。 ②伏木富山港発着の小口混載貨物輸送サービスを利用すること。			4万円

※小口混載に係る海上輸送費については、1トン(又はm³)当たり5千円を上限とする。

★伏木富山港を活用した国内輸送には、次のメリットもあります★

- i) 貨物量、輸送先等の条件によっては、**輸送コストを削減できる**場合があること。
- ii) トラック物流に係る**2024年問題**や**カーボンニュートラル**に対応することができること。
- iii) 災害時に、現在利用中の既存航路、**陸路等の代替ルート**として利用できること。

2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～
(2) 荷主企業奨励金制度

R6より内貿貨物も対象に

コンテナ貨物

対 象			要 件	交付額	限度額
荷主企業	シフト貨物 新規貨物	初年度	1 0 ～ 4 9 T E U	1 万円 / T E U	200万円
			5 0 ～ 9 9 T E U	1 . 5 万円 / T E U	
			1 0 0 T E U 以上	2 万円 / T E U	
		2 ～ 5 年度	5 0 T E U 以上増加	前年度実績からの 増差分 1 万円 / T E U	100万円
			1 0 0 T E U 以上増加	前年度実績からの 増差分 2 万円 / T E U	200万円
	継続利用 （ 6 年以上）		コンテナ貨物量（輸出入合計）が、 過去 3 カ年度の平均貨物量より 5 0 T E U 以上増加	過去 3 カ年度平均貨 物量からの 増差分 2 千円 / T E U	200万円
商社・物流業者等			取引先荷主企業（ 2 社以上）から、 1 0 0 T E U 以上集荷かつ前年度 比 5 0 T E U 以上増加	前年度実績からの 増差分 2 万円 / T E U	200万円

2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

(3) 国内輸送費助成制度

16

R6より内貿貨物も対象に

国内の陸送費高騰を踏まえ、伏木富山港の利用貨物について、
本港までの国内輸送(トラック、トレーラー、鉄道等)に係る経費の一部を助成。

対 象	要 件	交付額	限度額
荷主企業	新規、シフト貨物 (1 T E Uから)	国内輸送費の 1 / 3 補助 上限 1 万円 / T E U	5 0 万円

(4) ものづくり企業輸出・移出促進補助金

R7より移出貨物も対象に

ものづくり企業が、伏木富山港から工業製品を輸出・移出するにあたって必要となる梱包経費に対し補助

対 象	要 件	交付額	限度額
荷主企業	①伏木富山港を利用して工業製品を輸出・移出するにあたり、 特殊梱包を行うこと。 ②前年度に伏木富山港を利用した①の梱包による輸出・移出を 行っていないこと。	輸出梱包経費 1 m ³ あたり上限 5 千円	5 0 万円

特殊梱包:機械類への振動等を回避するための密閉梱包、スチール梱包等

船社助成金

定期コンテナ航路、フェリー航路、RORO航路を開設・増便する船社への助成

対 象		交 付 額	交付額	限度額
新規航路 増便	定期コンテナ航路	ガントリークレーン使用料の1割相当額 入港料・岸壁使用料の1/2相当額	航路開設日 から起算 して5年間	ガントリークレーン 1便あたり200万円
	定期フェリー航路 定期RORO航路	入港料・岸壁使用料 開設日～2年以内…全額 2年を超え5年以内…2/3相当額		なし

(6) 物流業務施設の立地助成制度

県内での物流施設の新規立地又は増設に伴う投資額や新規雇用者数に応じて新たに助成金を交付。

対 象	助成対象	交付要件	限度額	限度額
製造業 運輸業 小売業 卸売業	・ 土地・建物 ・ 設備（設備のみの 取得を除く）	【新規立地又は増設】 5億円以上かつ新規雇用10人以上	投資額の5% (県1/2 市町村1/2)	1億円

■立地要件:社会資本等(港湾、インターチェンジ、鉄道貨物駅等)の周辺5kmの区域内

■施設要件:保管、配送に留まらず、在庫管理や検品、梱包など 物流機能の高度化に資する施設

※単なる倉庫ではなく、高度な物流機能を有することが必要



- ・これまで伏木富山港を利用したことがない。
 - ・伏木富山港で新しい貨物の輸出・輸入をしたい。
- けど、コストやリードタイムが不安・・・。

⇒まずは、トライアル補助金の活用をご検討ください！



- ・伏木富山港を本格的に利用したい。
- ・取扱貨物量を増やしたい。

⇒荷主奨励金の活用をご検討ください！

まずは、担当までお気軽にお問い合わせください。

よくあるお問い合わせ



- ・想定している輸送ルートがトライアル補助金の対象となるか？
- ・この補助金はどういった輸送をする際に使えるのか？
- ・申請書の書き方を教えてほしい。

お問い合わせ先

富山県商工労働部成長産業推進室立地通商課
物流通商担当

TEL : 076-444-3400

Mail : arichitsusho@pref.toyama.lg.jp

■輸入

企業A(県外)

・これまで太平洋側主要港から陸送していた**北陸・信越地域への貨物**について輸送品質の確認のため、伏木富山港を利用し輸送。

＜シフト前＞ 欧米→太平洋側主要港→(陸送)→北陸・信越地域

＜実証航路＞ 欧米→釜山港→伏木富山港→北陸・信越地域

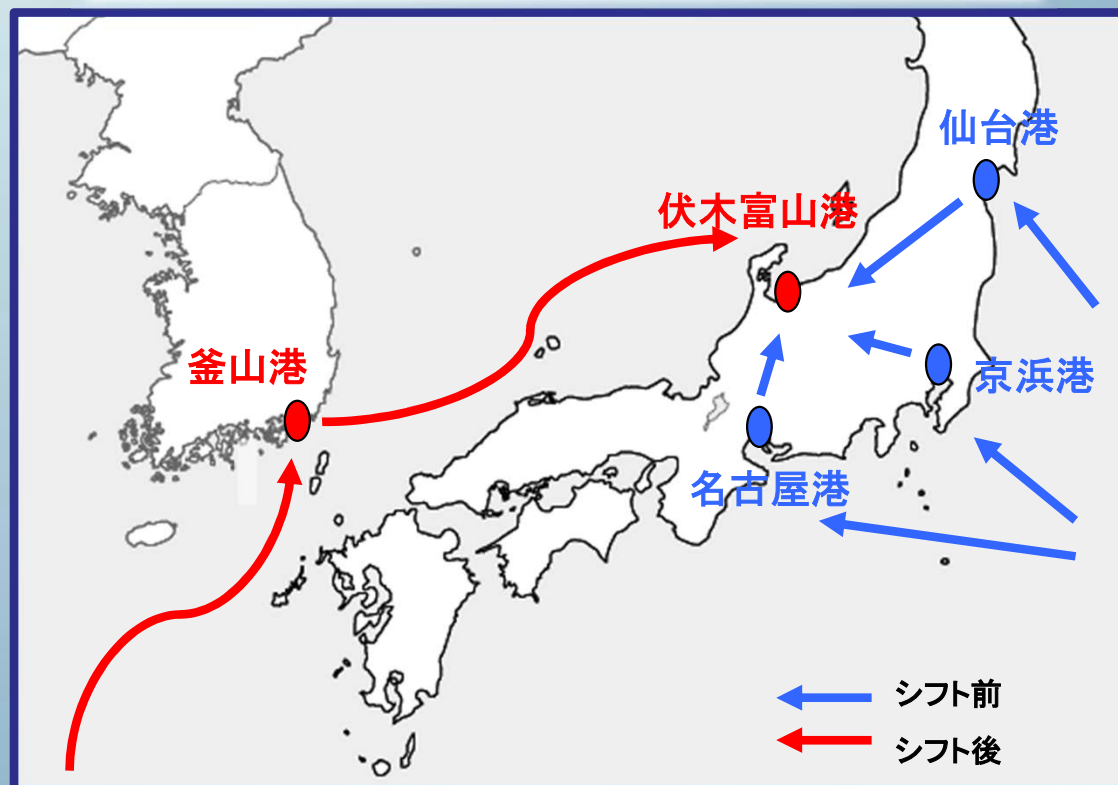
＜実験結果＞

○輸送品質

安定した輸入ができることが確認。
⇒コストや陸送距離の検証に移行

⇒安定した輸送品質が確認できたことから、初年度より伏木富山港の大口利用につながる。

～欧米からの貨物輸送トライアル～



■輸出

企業B(県内)

・海外への製品輸出について県外港利用時の環境・物流への負荷を踏まえ、リードタイム及び輸送品質検証のため、伏木富山港及び国際フィーダー船を利用し輸送。

<シフト前(例)> 企業→(陸送)→名古屋港→海外

<実証航路> 企業→伏木富山港→ひびき港→神戸港→中国(蛇口港)

<実験結果>

○リードタイム

同仕向け地への伏木富山港からの
他航路利用時よりも削減

○コスト

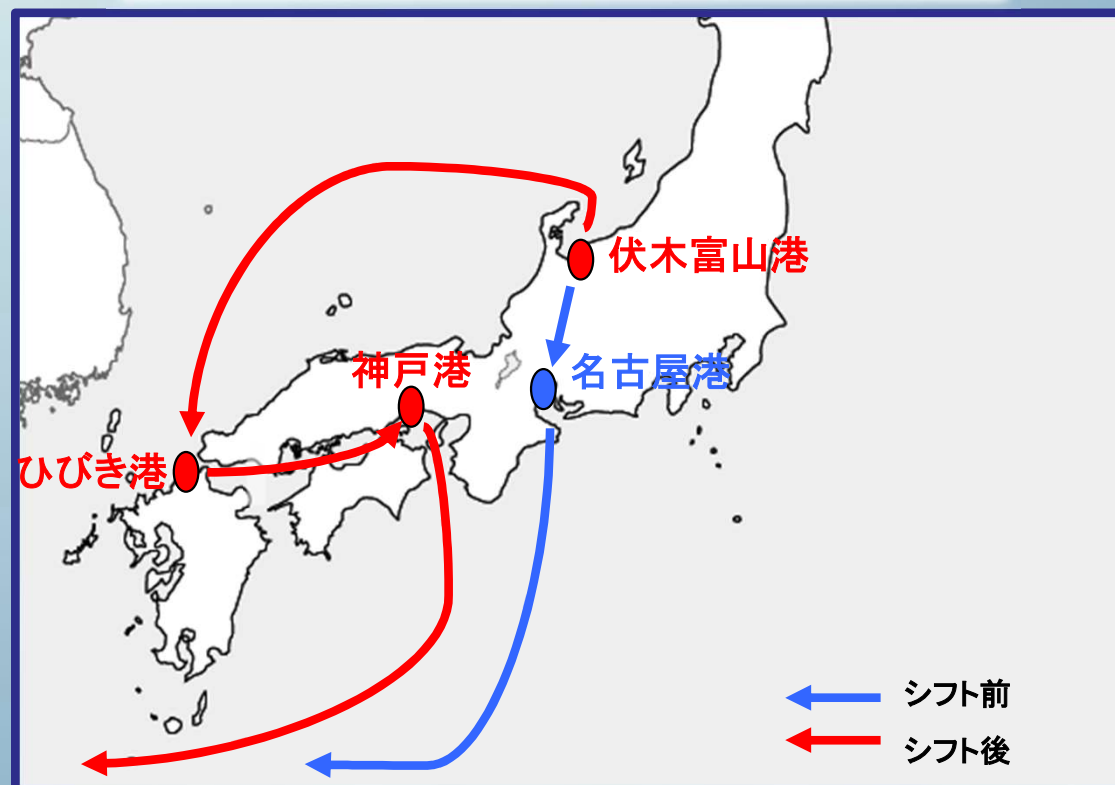
許容範囲内

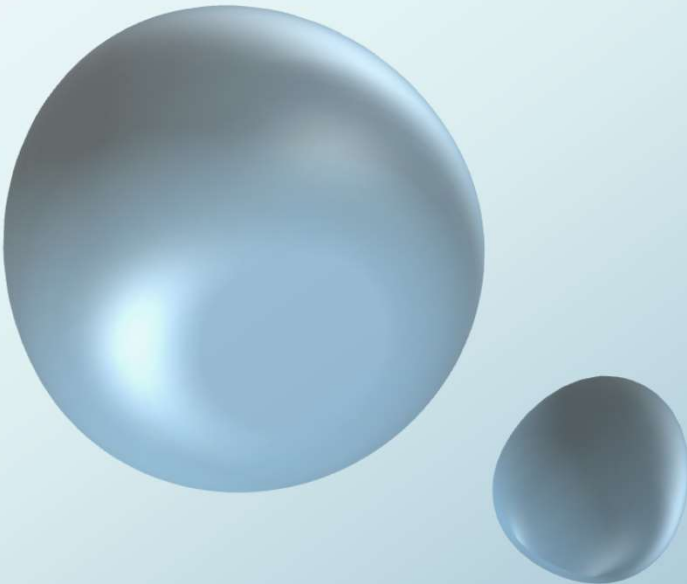
○環境・物流への負荷

長距離ドレージ輸送が不要となり、
環境や物流への負荷が削減。

⇒良好な結果が得られたことから、伏木富山港の継続利用につながる。

～中国への貨物輸送トライアル～





3. 伏木富山港の更なる活用を目指して

1 三大都市圏からの交通アクセス

- ・関東、中京、近畿の3大都市圏と等距離にあり、高速道路、鉄道など交通インフラも整備。

2 充実した荷役サービス体制

- ・機能強化が進められ、充実した荷役サービス体制を持つコンテナヤード。

3 手厚い補助制度による支援

- ・新規、シフト貨物を中心に、インセンティブ制度により伏木富山港を利用した貨物輸送を手厚くサポート。

●物流業界の環境変化を踏まえた集荷促進

- ドライバー不足、働き方改革による労働時間規制(2024年問題)
陸送費高騰などの課題、長距離輸送が困難に
→ 荷主企業に対し地元港利用の働きかけを強化
- 太平洋側港の混雑、災害等へのリスク対応 → BCPの観点からの利用を

●充実したインセンティブ制度による支援

- ・伏木富山港を利用促進のための支援制度を実施

●伏木富山港の機能強化

- ・新湊地区国際物流ターミナルのガントリークレーン1号機を更新(R 5.9月)
- ・新湊地区中央ふ頭水深14m連続560m岸壁の供用開始(R 6.5月)

●脱炭素社会への貢献

- ・伏木富山港港湾脱炭素化推進計画の策定 (R 6.6月)

●長期構想の検討

- ・伏木富山港の港湾計画改訂に向けて、長期的視野に立って港湾の将来構想・ビジョンを検討すること目的として「伏木富山港長期構想検討委員会」を設置 (R 7.2月)

○本資料に関するお問合せ先

富山県商工労働部成長産業推進室立地通商課

〒930-8501 富山市新総曲輪 1 番 7 号

TEL : 076-444-3400 / FAX : 076-444-4401

○伏木富山港の利用に関するお問合せ先

・伏木海陸運送（株）

〒933-0104

高岡市伏木湊町5番1号

TEL : 0766-45-1111

FAX : 0766-45-1198

・日本通運（株）

北陸支店

営業部（富山国際）

〒934-0095

高岡市石丸704-11

TEL : 0766-82-8740

FAX : 0766-84-3410

・富山港湾運送（株）

〒931-8688

富山市東岩瀬町100番地

TEL : 076-437-9231

FAX : 076- 437-9115